

第37回酪農海外現地実務研修会 参加者募集のお知らせ

中央酪農会議では、平成21年10月17日(土)～29日(木)の期間で、第37回酪農海外現地実務研修会を開催致します。本年度は、フランス及びベルギーにて研修を行う予定です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1. 趣 旨

最近の我が国酪農・乳業を巡る情勢は、穀物・原油等の国際価格の乱高下や、世界的な景気減速による乳製品市況の悪化など外的要因に大きく翻弄され、多くの酪農・乳業が経営に打撃を受けた。また、WTO交渉が翌年の妥結を目指して再開される機運が高まるなど、さらなる国内牛乳乳製品市場の国際化が一気に進展する可能性もある。

そのような状況下、乳製品主要輸出地域であるEUにおいては、共通農業政策のもと市場支持・直接支払などの「第一の柱」から、「第二の柱」である農村振興政策へのシフトが明確になってきており、その方向性や新たな政策がどのような影響を与えるか注目される。

以上を踏まえ、今年度の酪農海外現地実務研修会では、酪農・乳業の先進的な政策・取組を行っているEUの中でも、域内最大の農業国であるフランスと、EU本部が置かれているベルギーに焦点を当て、以下の内容で実施するものとする。

2. 開催期間

平成21年10月17日(土)～10月29日(木)

3. 研修先(予定)

フランスの酪農家・生産者団体・乳業・小売店・行政機関等を予定。うち10月17日(土)～10月23日(金)をフランスでの研修、10月24日(土)～28日(水)をベルギーでの研修に充てる予定です。

4. 研修内容(予定)

- (1)EUの酪農政策と今後の方向性
 - ①EU共通政策の先進性と課題
 - ②ヘルスチェック後の方向性と各国の対応
 - ③クォータ制度廃止に向けた取組と予想されるEU内外への影響
- (2)フランスの酪農乳業について
 - ①共通農業政策下のフランス農政の現状と課題
 - ②酪農・乳業の取引関係
 - ③酪農家による消費者交流や加工などの取組と課題
 - ④乳業工場の視察
- (3)ベルギーの酪農乳業について
 - ①共通農業政策下のベルギー農政の現状と課題
 - ②酪農・乳業の取引関係
 - ③酪農家・酪農関係企業視察

5. 参加費用

参加者1名当たり685,000円(税込み)です。

6. 申し込み方法

実施要領の同封の参加申込書に必要事項を記入し、平成21年8月17日(月) (申込書必着) までに中酪宛に郵送にてお申し込み下さい。申込書が複数必要な場合は、コピー又は中酪HP (<http://www.dairy.co.jp/>) からのダウンロードにてご用意下さい。

申込書郵送先：〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル9階
社団法人中央酪農会議 総合対策課 草間 宛

7. 担当及び問い合わせ先

総合対策課 草間 (03-3219-2623)